



initiative

株式会社インターネットイニシアティブ 2005年度第2四半期及び中間期決算説明

Internet Initiative Japan Inc.

2005.11.9

注意事項：本資料における2003年3月期及び2004年3月期の連結財務諸表及び2004年度第1四半期から第3四半期までの連結決算情報については、2005年4月11日付プレスリリースにて既報の決算修正を反映した数値としています。

IIJ
Internet Initiative Japan

事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述 (forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) あらゆる事象を要因とするサービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下、
- 3) 役務提供に必要なバックボーン回線、外注費等の調達要領及びコストの変化、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 業績の四半期毎の季節変動の増大、
- 6) 保有株式の時価の変動による経営成績及び財務状況への影響、

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法 (Securities Exchange Act of 1934) に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書 (Form 20-F) 及びその他の書類をご参照下さい。

2005年度中間期 連結実績の総括

**2005年度
中間期**
(2005/4 ~ 2005/9)

2005年度中間期ベースで、年初の業績ターゲットを達成

営業収益(売上高)は 218.1億円
(前年同期比 13.7%増、見通し対比 9.2%増)

内、アウトソーシング売上は 101.1億円
(前年同期比 42.3%増)

営業利益は7.5億円
(前年同期比 315.0%増、見通し対比 37.1%増)

当期損益は16.2億円に黒字転換
(見通し対比 23.0%増)

2005年度中間期 連結実績

	2005年度中間期 (2005/4-9)		2004年度中間期 (2004/4-9)		前年 同期比
	実績	売上高比	実績	売上高比	
営業収益	218.1億円	100.0%	191.9億円	100.0%	13.7%
売上原価	179.9億円	82.5%	163.0億円	84.9%	10.4%
販売管理費等	30.6億円	14.1%	27.1億円	14.1%	13.1%
営業利益	7.5億円	3.5%	1.8億円	0.9%	315.0%
当期損益	16.2億円	7.4%	(0.09億円)	(0.0%)	—

2005年度第2四半期 連結実績の総括

**2005年度
第2四半期**
(2005/7 ~ 2005/9)

システムインテグレーション及び付加価値サービスが順調に推移した結果、前年同期比、前四半期比共に大幅増収増益

営業収益(売上高)は 119.3億円
(前年同期比 13.5%増、前四半期比 20.7%増)

営業利益は 5.1億円
(前年同期比 79.8%増、前四半期比 105.7%増)

当期利益は10.0億円
(前年同期比 336.6%増、前四半期比 60.7%増)

2005年度第2四半期 連結実績

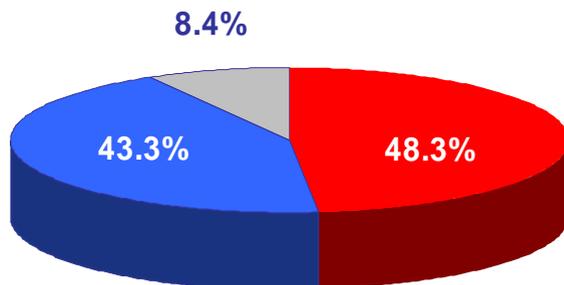
	2005年度第2四半期 (2005/7-9)		2004年度第2四半期 (2004/7-9)		前年 同期比
	実績	売上高比	実績	売上高比	
営業収益	119.3億円	100.0%	105.1億円	100.0%	13.5%
売上原価	98.7億円	82.8%	88.5億円	84.2%	11.5%
販売管理費等	15.5億円	13.0%	13.8億円	13.1%	12.5%
営業利益	5.1億円	4.3%	2.8億円	2.7%	79.8%
当期利益	10.0億円	8.4%	2.3億円	2.2%	336.6%

外注人件費、保守費の増加があったものの、売上総利益率は1.4ポイント改善

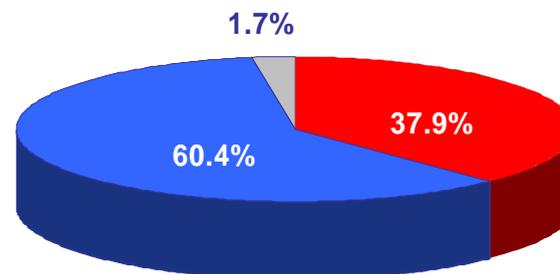
広告宣伝費等の増加に伴うものであるが、販売管理費率はほぼ横ばいで推移

2005年度第2四半期 連結営業収益・売上総利益構成

< 営業収益内訳 >



< 売上総利益内訳 >

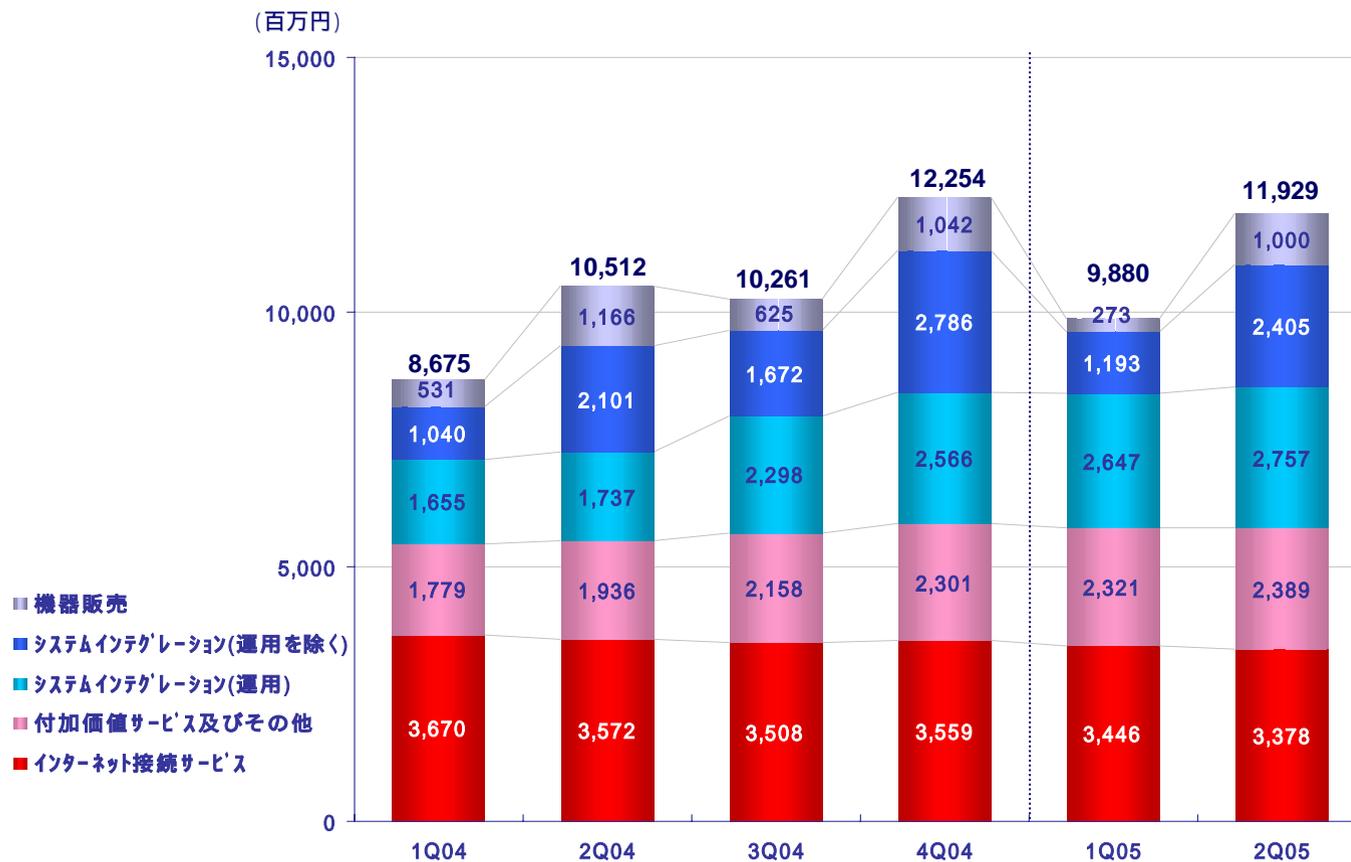


- インターネット接続及び付加価値サービス
- システムインテグレーション
- 機器販売

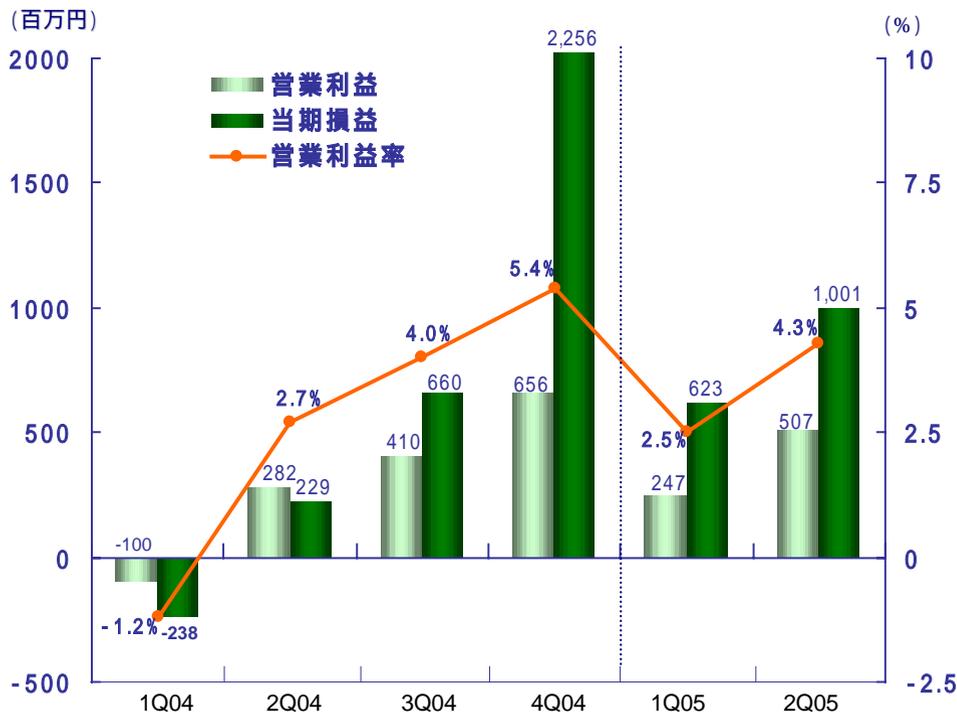
(単位: 百万円)

	営業収益	構成比	売上総利益	構成比
インターネット接続及び付加価値サービス	5,767	48.3%	779	37.9%
システムインテグレーション	5,162	43.3%	1,243	60.4%
機器販売	1,000	8.4%	34	1.7%
合計	11,929	-	2,056	-

連結営業収益四半期推移



連結損益四半期推移



有価証券売却益



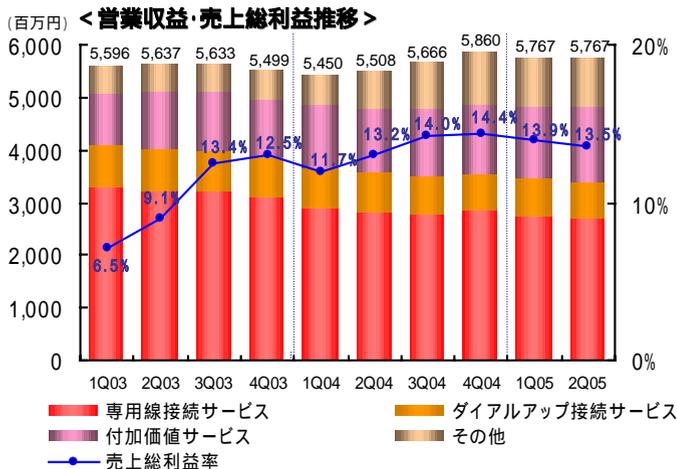
2005年9月末で保有する上場株式残高は、約71億円。

今後も継続的な有価証券売却計上を見込む。

季節変動要因により下期に比べ弱含みする第1四半期・第2四半期において、システムインテグレーションおよびアウトソーシングが順調に推移した結果、営業損益・当期損益共に前年同期比、前四半期比を大きく上回りました。

各サービスの概況

インターネット接続及び付加価値サービス



専用線接続契約数 12,702回線
 (前年同期比 + 3,822回線, 43.0%増、前四半期比 + 428回線, 3.5%増)

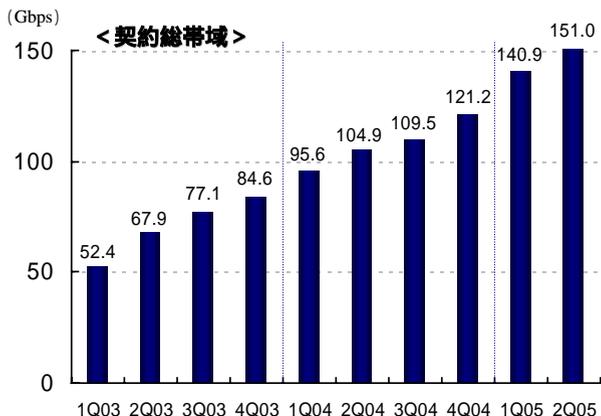
IPサービスでは、1G回線数が新規獲得および顧客の広帯域化により大幅に増加
 (1G回線数 1Q05: 33回線 2Q05: 43回線の + 10回線)

契約総帯域は 151.0Gbps と、引続き順調に増加
 (前年同期比 + 46.1Gbps, 43.9%増、前四半期比 + 10.1Gbps, 7.2%増)

付加価値サービスはセキュリティ系サービス、電子メール等のサーバアウトソーシングサービス、ウェブホスティング、ネットワークアウトソーシングサービス等が好調に推移し、
営業収益は前年同期比 19.5% 増

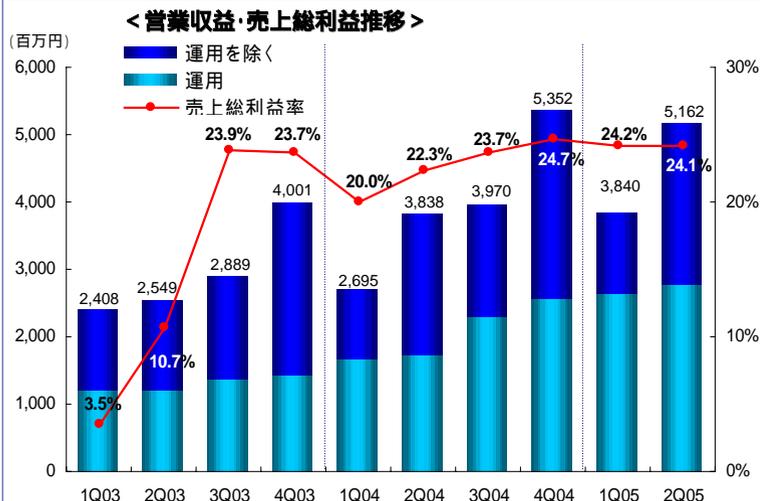
その他サービスについては、顧客の多拠点接続案件に伴う広域イーサネットサービスが増加し、
営業収益は前年同期比 30.0% 増

売上原価は、外注人件費、保守費の増加はあったものの、
 安定的に推移



各サービスの概況

システムインテグレーション(SI)



構築案件の増加とそれに伴う運用売上の増加により、
前年同期比で **34.5%増** の大幅増収

売上総利益率は、構築案件の増加により、前年同期比では
1.8 ポイント増加したものの、前四半期比ではほぼ横ばい

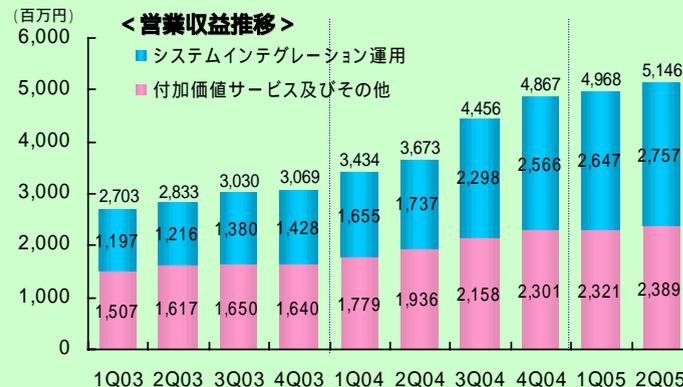
収益性の高い運用売上が、引き続き増加
(前年同期比 **58.7%増**、前四半期比 **4.2%増**)

アウトソーシング

「システムインテグレーション運用」+「付加価値サービス及びその他」

収益性の高い恒常的な売上であるアウトソーシング売上は、
引き続き順調に推移

2Q05のアウトソーシング売上は **5,146百万円** と前年
同期比 **40.1%増** の大幅増収



2005年度 連結業績見通し

- ・2005年度中間期において、期初の業績見通しを達成
- ・2005年度通期業績見通しについては、システムインテグレーションの季節変動要因から、中間期に比べて下期(特に第4四半期)の業績が通期の業績に与える影響が大きいことより、2005年度通期業績見通しに変更はございません。

(単位:百万円)

	2005年度中間期 (2005/4 ~ 2005/9)		達成率	2005年度 (2005/4 ~ 2006/3) 通期見通し	2004年度 (2004/4 ~ 2005/3) 通期実績
	実績	見通し			
営業収益	21,809	19,980	109.2%	46,330	41,703
営業利益	754	550	137.1%	2,320	1,248
当期利益	1,623	1,320	123.0%	3,700	2,906

トピック

株式分割、IIJグループの一部再編について

株式分割および米国預託証券(ADR)の
対原株比率変更について

株式投資単位の引き下げを目的に、株式の分割(1株を5株に分割)および米国預託証券(ADR)の対原株比率変更(1ADR = 1/2,000原株を1ADR = 1/400原株へと5倍に変更)を行いました。

株式の分割について

権利付最終日 : 2005年8月31日
割当比率 : 1 : 5
効力発生日 : 2005年10月11日

ADRの対原株比率変更について

従来の比率 : 1ADR = 1/2,000原株
新比率 : 1ADR = 1/400原株
変更実施日 : 2005年10月11日(米国東部時間)

IIJグループの一部再編について

企業のアウトソーシング需要に対応したソリューション提供体制の強化、グループ経営の最適化を目的に、グループ事業の再編を行いました。

(株)アイジエイメディアコミュニケーションズ'(IIJ-MC)

- SI事業をIIJ-Techに吸収分割(2005年10月1日)
- 残存するIIJ-MCとIIJの合併(存続会社: IIJ)により、音声映像配信事業とアプリケーションホスティング事業をIIJに統合(2005年10月1日)

(株)アジア・インターネット・ホールディング'(AIH)

- AIHとIIJとの合併(存続会社: IIJ)によりインターネット接続事業とVPN事業をIIJに統合(2005年10月1日)

トピック

主要なプレスリリース一覧

発表日	件名
10/20	IIJ-Tech、「IBPSデータベースセキュリティアセスメントサービス」を開始 - 企業内のデータベースの脆弱性を検査し、情報漏えい・改ざんのリスクを未然に防ぐセキュリティコンサルティングサービスを提供開始 -
10/14	沖電気のホームゲートウェイ向けプラットフォームにSMF技術を提供 - 沖電気のホームネットワークサービス向けプラットフォーム「BB MediaRouter」にSMFのゼロ・コンフィグレーション機能を提供 -
10/5	「IIJ Internet-LANサービス」を開始 - 企業向けに低価格・高品質のブロードバンド広域イーサネットサービスを提供開始 -
9/30	IIJ-Tech、アイビーモバイル株式会社へ出資 - モバイル・ブロードバンド・サービスの実現を目指すアイビーモバイルとSI事業での協力を図る -
9/28	IIJとIIJ-MC、金環日食の高品質ライブ映像をCATV向けに配信 - DV over IP技術による高品質映像伝送への取り組みの第2弾として、10月3日の金環日食ライブ映像をマドリッドから配信 -
9/27	個人向けサービスIIJ4U・IIJmioの迷惑メール対策を強化 - Outbound Port 25 Blockingを導入開始 -
9/9	RFID(無線ICタグ)ソリューションの提供を開始 - RFIDをインターネット上で利用するための「IIJ EPC Networkサービス」を提供 -
8/1	IIJ、IIJ-Tech、日本HPの3社がRFID(無線ICタグ)プラットフォームの提供で協業 - インターネットを利用した企業間国際物流分野向けRFIDプラットフォームを実用化し、「グローバル・リアルタイムSCM」を提供 -